

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達療育クラスラブアリス江別校 TEENS		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験を積むことが出来、 失敗してもどうすれば成功するのか。を大人と一緒に考える ことが出来ます。	・すぐに成功するよりも失敗から学ぶことの方が多いと考えているため、どんなことでもまずはやってみるを促しています。 ・日常では経験する事の少ない、木工や高齢者との関りを祝日、長期休みに積極的にしています。 ・季節ごとにイベントを企画しています。(冬は餅つき、夏は夏祭り、キャンプ等)	・地域を巻き込んだイベントの実施を企画 ・失敗から成功までの道筋を詳細に記録として残し、様々な児童への対応を可能とする。 ・家庭や学校では経験が難しいこと(公共交通機関の使い方、お金の重要性など)の実施
2	同年代とのコミュニケーションの向上が目指せます。	・個別よりも集団を意識して活動を行っています。 ・コミュニケーションの中で良い所はすかさず褒め、良くない所はSSTなどを通してより好ましいように促していきます。	コミュニケーションにおいて重要な事(相手の気持ちを推し量る、思いを正確に伝えるなど)の向上するための取り組み。 対面のコミュニケーションだけでなく、SNS上でのコミュニケーションにも焦点をあて、SSTなどを活用してコミュニケーションの向上するための取り組み。
3	自立に向けた活動ができます。	・料理、パソコン、掃除などを行っています。 ・出来ない事、わからないことに対して助けを発信する練習を日々取り組んでいます。 ・年上の児童や大人に対し、適切な言葉遣いが出来るよう日常の会話などから練習しています。 ・就労事業所の見学なども実施しています。	・より多くの就労事業所の見学、体験の実施 ・個々の将来(進学、就労)に向けた面接練習や履歴書の書き方、将来の目標に対してどのように行動して行けばいいのか(将来はこの職業に就きたいと思った時に必要な資格や学力)等の取り組みの強化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関りがほとんどない。	・以前は思い出報告会などで保護者同士、面識を持つ機会が設けられていたが、コロナ等の影響により開催しなくなってしまった。	・レクを様々な企画しているので、そこに保護者も参加できるような仕組みを確立する。 ・就労や進学に関わる勉強会などの実施
2	医療的ケアが必要なお子様の受け入れが現在は出来ない。	・看護職員が在籍していない。	必要性を検討した上で採用なども考えていく。
3			